

副理事長 基本方針

郷土貢献構築委員会 担当副理事長 松岡 奨

伊都青年会議所は、この地域に所縁のある青年経済人が集い、55年という長きにわたり地域に根差した運動を展開してまいりました。しかし、近年はメンバーが減少傾向にあり、地域から必要とされる人財・組織で在り続けるためには、メンバー一人ひとりの成長が必要不可欠です。真剣に何事にも取り組み、メンバー間の絆を深めることで創出される好循環を郷土への貢献、そしてまちづくりに活かすことが必要です。

まずは、郷土への奉仕を目的とし、我々の郷土である橋本・伊都地域の大きな魅力を対内、対外に広く発信します。我々自身が魅力あふれるまちに住んでいるという誇り＝わがまちプライドを持ったまちづくりを行うことで、好循環を創出し、地域の課題解決に貢献します。郷土への奉仕を継続することで、メンバー全員がやりがいを感じながら、青年会議所活動をE n j o yできると考えます。そして、伊都青年会議所が、地域で好循環を生み出し続けるためには、積極的な会員拡大と会員交流に取り組んでいくことが重要です。加えて、入会の浅いメンバーに対するフォローアップに注力し、役割を担っていただくことで、青年会議所活動にやりがいを感じていただける運営を実現します。仲間と切磋琢磨しながら、ひとつの目標に向かうことで育まれる絆は、今後の人生において、かけがえのない大きな財産になります。また、入会候補者に対し、我々の在り方を示す運動を積極的に行うことで、質のある会員拡大を行います。その結果、更に多くの仲間と、伊都青年会議所が創り出す好循環を共にE n j o yできると強く心に感じます。

E n j o yが生み出す好循環をまちづくりや会員拡大、会員交流に活かすことで、周囲や社会への貢献を行うとともに、我々個々が成長し、組織の発展に繋がります。この好循環を創り出す組織が、40歳までと限られた時間の中での運動を通じ、地域にとって必要とされる人財・組織になれると確信します。